

作成年月日	平成29年8月22日
作成部局	教育委員会事務局
課室名	教育企画課

第2期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」の取組状況

教育基本法第17条第2項の規定に基づき、本県教育の振興を図るため策定した第2期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」（平成26～30年度）の平成28年度の取組状況及び今後の取組について報告する。

1 指標(全155項目(H28は隔年調査の1項目を除く))の達成状況・・・[別添1]

指標について、達成状況を4段階で評価

◎：目標値を達成した(100%以上)

△：目標値をやや下回った(70%以上～90%未満)

○：目標値を概ね達成した(90%以上～100%未満)

▲：目標値を下回った(70%未満)

基本方針	指標数	達成状況				未確定 —
		◎	○	△	▲	
1 自立して未来に挑戦する態度の育成	19	5	12	2	0	0
2 「生きる力」を育む教育の推進	83	29	36	10	2	6
3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立	32	11	9	3	3	6
4 すべての県民が学ぶ生涯学習社会の形成	21	8	7	5	1	0
合計 (155項目)		53 [37.1%]	64 [44.7%]	20 [14.0%]	6 [4.2%]	12
(参考) H27 同期実績		59 [40.4%]	66 [45.2%]	18 [12.3%]	3 [2.1%]	10

「△：やや下回った」「▲：下回った」…… 26項目 (18.2%)

- △ 就職希望者のうちインターンシップを行った県立高等学校生徒の割合
 - △ トライやるアクションを実施した中学校の割合
 - △ 学校の授業以外に、普段(月～金)、1日当たり30分以上読書する児童生徒の割合 [小/中]
 - △ 道徳の授業を全学級で家庭・地域に公開している学校の割合(小・中)
 - △ 人権教育資料を活用した授業を実施した学校の割合 [高等学校]
 - △ スポーツをする児童生徒の割合(授業を除き1日1時間以上) [小/高]
 - △ 「運動プログラム」を活用している学校の割合 [小/中]
 - △ わくわく幼稚園を実施している私立幼稚園
 - △ 県立大学における留学生数(受入人数)
 - △ 学校評価の結果をその後の具体的な取組に活かした学校の割合(幼・小・中・高・特)
 - △ 精神疾患による療養者数(小・中・高・特)
 - △ 休職中の教員のプレ出勤等実施率(小・中・高・特)
 - △ 生涯学習情報ネットワークシステムのアクセス件数
 - △ 親子で行うスポーツプログラムを実施するスポーツクラブ21ひょうごの割合
 - △ 国内外で活躍する本県選手数
 - ▲ 観察・実験活動充実のための高校教員等による研修会を開催する小学校数
 - ▲ 昭和60年頃の子どもの体力水準に達している項目の割合(小・中・高)
 - ▲ 教職員の処分件数(※交通違反によるものや訓告等を含む)(小・中・高・特)
 - ▲ 体罰の発生件数(小・中・高・特)
 - ▲ ひょうごっ子・ふるさと塾事業実施数
 - ▲ 大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催に取り組むスポーツクラブ21ひょうごの割合
- これらの項目については、今後の対応を取りまとめた。・・・[別添2]

2 取組状況等及び今後の取組（概要）

基本方針1 自立して未来に挑戦する態度の育成

◆社会的自立に向けたキャリア形成の支援

[取組状況等]

- 子どもたちの社会的自立に向けたキャリア形成を支援するため、小・中・高における系統だったキャリアノートの活用等に関する教員研修を実施するとともに、発達段階に応じた継続的なキャリア教育に取り組んだ。

指 標		H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小	87.6%	86.5%	86.6%	85.1%	85.3%	○
	中	72.6%	70.1%	70.2%	69.6%	71.1%	○
将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合 [高]		新規調査	44%	52.9%	51.4%	52%	○

[今後の取組]

- 小・中・高をつなぐキャリアノートの活用・実践を行いながら、小・中・高を通じた継続的な指導を行えるよう、研修等を通じて取組内容の充実を図る。

◆兵庫型「体験教育」の推進

[取組状況等]

- 環境体験、自然学校、「わくわくオーケストラ教室」、「トライやる・ウィーク」、「高校生ふるさと貢献活動」、「インターンシップ」など、兵庫型「体験教育」に取り組んだ。

指 標		H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
地域と協働してふるさとの自然のよさに気づく学習プログラムを実施した学校の割合 [小]		79.8%	83.5%	83.9%	84.8%	92%	○
トライやるアクション※を実施した学校の割合 [中] ※トライやる・ウィークで培ったネットワーク等を活用した生徒の自発的活動		56.6%	63.8%	63.3%	59.9%	71%	△
高校生ふるさと貢献活動事業等学校行事において地域と協働した活動（地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等）に参加した生徒の割合		新規調査	55.8%	58.4%	61.2%	67%	○

[今後の取組]

- 兵庫型「体験教育」全体を通して、子どもたちの成長を長期的な視点でとらえ、系統性のある効果的な教育活動にしていく。また、キャリア教育の視点を盛り込んだ兵庫型「体験教育」の在り方や各教科との関連等の実践方法について研究協議会を設置し、検討する。

◆グローバル化に対応した教育の推進

[取組状況等]

- 全県立高校が独自に作成したCAN-DOリストを活用した英語授業改善、英語教員のための指導力向上研修、海外留学チャレンジプラン等の事業に取り組んだ。

指 標		H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している児童生徒の割合	小	72.7%	72.9%	74.5%	74.1%	76%	○
	中	63.8%	65.4%	65.5%	66.6%	67%	○
将来、外国に留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う生徒の割合 [高]		新規調査	37.7%	44.4%	42.6%	44%	○
英検準2級以上相当の英語力を有する高校3年生の割合		38.4%	42.6%	42%	43.9%	45%	○

[今後の取組]

- 国の「生徒の英語力向上推進プラン」、小学校外国語活動の開始学年の早期化に対応するとともに、中学校ではつまづきを予防するワークシート等の活用による教員の指導力向上、高校では独自に作成したCAN-DOリストの活用等による授業改善の推進により、生徒の英語力の向上を図る。

- ALT の活用による実践的な英語力の育成や、海外留学の促進による積極性やチャレンジ精神の涵養に取り組み、将来、海外で活躍できるグローバル人材の育成を目指す。

基本方針2 「生きる力」を育む教育の推進

◆「確かな学力」の育成【小・中学校】

[取組状況等]

- 小・中学校における学力の確実な定着を図るため、全国学力・学習状況調査の結果や学習指導要領の趣旨を踏まえた学力向上方策や、各教科等における「ことばの力」の育成などに取り組んだ。

指 標		H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）【小学校】	国語A	63.3%	72.9%	70.1%	73%	全国平均以上(73%)	◎
	国語B	49.9%	54.6%	65.5%	58%	全国平均以上(58%)	◎
	算数A	77.4%	77.7%	75.2%	78%	全国平均以上(78%)	◎
	算数B	59.2%	58.4%	46.9%	47%	全国平均以上(47%)	◎
「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）【中学校】	国語A	76.8%	79.9%	77.1%	76%	全国平均以上(76%)	◎
	国語B	67.0%	51.1%	65.9%	66%	全国平均以上(67%)	○
	数学A	65.9%	69.6%	67.1%	66%	全国平均以上(62%)	◎
	数学B	43.8%	61.3%	42.8%	46%	全国平均以上(44%)	◎
普通の授業で、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思う児童生徒の割合	小	77.6%	77.3%	82.7%	85.6%	全国平均以上(82%)	◎
	中	50.6%	54.6%	64.8%	77.4%	全国平均以上(62%)	◎
普通の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思う児童生徒の割合	小	70.6%	65.9%	69.3%	72.9%	全国平均以上(76%)	○
	中	37.9%	40.1%	44.3%	49.0%	全国平均以上(48%)	◎

[今後の取組]

- 「兵庫型教科担任制」のさらなる充実を図るとともに、小中連携教育を促進する。また、地区別研修会や専用ホームページの開設により、「ひょうごつまずきポイント指導事例集」の活用の促進を図る。
- 理数教育については、「小学校理科授業改善研究事業」の研究成果等の周知を図るとともに、高校教員等による小中学校での研修会の積極的な活用を促す。

◆「確かな学力」の育成【高等学校】

[取組状況等]

- 「ひょうご学力向上サポート事業(指定校45校)」、「県立高校特色づくり推進事業(全県立高校)」等により各校の特色に応じた学力向上に取り組むとともに、「土曜日の有効活用モデル推進事業」、「理数教育アクションプラン」により、多様な学びの機会の提供に努めた。

指 標	H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
「学校の授業がよくわかる」と感じている生徒の割合	55.7%	58.1%	57.4%	57.5%	58%	○
家庭など学校での授業以外で平日に1時間以上学習する生徒の割合	50.4%	51.7%	49.8%	48.5%	53%	○
学校の授業以外に、普段（月曜から金曜日）、1日当たり30分以上読書する生徒の割合	新規調査	11.0%	11.6%	11.8%	13%	○
探究的活動を取り入れた授業を行っている高等学校の割合	67.7%	83.2%	89.2%	89.9%	85%	◎

[今後の取組]

- 「ひょうご学力向上サポート事業」で作成した共通教材の検証・改善や、アクティブ・ラーニングの視点による授業改善で得られた成果を、公開授業等を通して各校に還元することで、生徒の学習意欲を高めるなど、さらなる学力向上の推進を図る。

- 生徒の読書に対する興味・関心を喚起し、さらに読書活動の充実を図る。

◆「豊かな心」の育成

[取組状況等]

- 道徳教育推進のための指導体制の充実や指導力の向上、「兵庫版道徳教育副読本」のさらなる活用に取り組んだ。
- インターネット上における人権侵害等の新たな人権課題の解決に向けて、推進校の推進教員を中心に効果的な指導内容、方法などを実践的に研究した。また、日本語指導が必要な外国人児童が在籍する公立学校への子ども多文化共生サポーターの派遣等、多文化共生社会の実現をめざす教育の充実に取り組んだ。

指 標		H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小	75.9%	76.8%	77.0%	76.5%	79%	○
	中	65.2%	66.3%	67.6%	69.3%	68%	◎
道徳の授業を全学級で家庭・地域に公開している学校の割合[小・中]		67.4%	67.1%	76.7%	78.8%	90%	△
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小	95.8%	96.3%	96.2%	96.5%	100%	○
	中	93.5%	93.4%	93.8%	93.7%	100%	○

[今後の取組]

- 「道徳の時間」（「特別の教科 道徳」）での学びに加え、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の充実や、兵庫型「体験教育」等を中心とする学校行事等を通して、自他の生命の尊重、自分への信頼感や自信などの自尊感情、他者への思いやりなどの道徳性の育成に努める。
- 児童生徒、教職員による被災地への支援活動を引き続き実施し、活動を通じて得られる経験を活かすとともに、震災の経験と教訓を継承し、「共生」の心を育む「兵庫の防災教育」に取り組む。

◆「健やかな体」の育成

[取組状況等]

- 小・中学校の発達段階に応じて、体力の構成要素（筋力、調整力等）ごとに様々な運動等を示した「運動プログラム」の普及・推進、体力アップサポーターの派遣(派遣校 68校)により児童生徒の体力・運動能力の向上に取り組んだ。
- 全ての学校で充実した食育を推進するとともに、指定した地域において、地産地消の推進と伝統的食文化の継承に取り組み、その成果を県下に普及した。

指 標		H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
昭和60年頃のこどもの体力水準に達している項目の割合 [小・中・高]		9.1%	18.2%	22.7%	27.3%	50%	▲
朝食を毎日食べる児童生徒の割合	小	87.4%	86.8%	86.3%	86.5%	90%	○
	中	83.2%	82.8%	83.1%	82.9%	86%	○
	高	80.9%	80.7%	82.5%	82.2%	83%	○

[今後の取組]

- 「体力アップひょうご」サポート事業において、専門的指導力を有する外部指導者を派遣するとともに、うまくできるコツや楽しい授業指導法を収めた動画を作成、web 配信することにより教員の指導力向上を図る。
- 学校教育活動全体を通じた組織的・計画的・継続的な食育実践体制の充実を図るとともに、学校・家庭・地域の連携体制の構築や、とりわけ中学校における食育を推進する。

◆特別支援教育の充実

[取組状況等]

- 地域内の教育資源活用に係るインクルーシブ教育モデル研究を実施した。また、障害のある子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援を保障する就学先決定・引継ぎを実践研究する「早期からの教育相談・支援体制構築事業」を実施したほか、知的障害児童生徒の増加に対応するため、県立西神戸高等特別支援学校を整備、開校した。

指 標	H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
特別な支援を必要とする生徒が在籍する県立高等学校のうち、「個別の指導計画」を作成・活用した学校の割合	51.1%	54.5%	59.7%	76.4%	70%	◎
特別支援教育に関する研修を受講した教員の割合 [幼・小・中・高]	78.3%	81.5%	87.0%	90.5%	100%	○
特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合	16.5%	18.3%	22.4%	※(12月)	23%	—
特別支援学校高等部生徒の就労体験を受け入れる企業・事業所の数	448 事業所	466 事業所	544 事業所	544 事業所	450 事業所	◎

[今後の取組]

- 「個別の指導計画」の作成・活用については、引き続き研修会等の機会を捉えて、教員の意識付けを図り、積極的な取組を推進する。
- 特別支援学校高等部卒業生の一般就労率の向上をめざし、作業学習・現場実習の拡充、技能検定の実施、認定資格の開発等、地元企業と連携した取組を推進する。

基本方針3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立

◆学校の組織力及び教職員の資質能力の向上

[取組状況等]

- 兵庫県いじめ対応ネットワーク会議を開催し、関係機関との連携を強化するなど、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めた。
- 「教職員の勤務時間適正化新対策プラン」に基づき、「教職員定時退勤日」の実施、「ノー会議デー」、「ノー部活デー」等の徹底に取り組んだ。

指 標	H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価	
教職員の処分件数 [小・中・高・特]	311 件	370 件	504 件	339 件	203 件	▲	
体罰の発生件数 [小・中・高・特]	50 件	50 件	45 件	32 件	20 件	▲	
認知したいじめを解消させた割合 [小・中・高・特]	85.2%	84.8%	86.4%	※(10月)	全国平均以上	—	
「教職員定時退勤日（ノー残業デー）」を実施している学校の割合（週1回以上） [小・中・高・特]	(84.4%) 設定率	66.3%	72.3%	76.7%	80%	○	
「ノー会議デー」を実施している学校の割合（週1回以上） [小・中・高・特]	(87.5%) 設定率	88.8%	91.3%	92.1%	80%	◎	
「ノー部活デー」を実施している運動部、文化部の割合（平日は週1回以上、土曜日、日曜日等の休日は月2回以上部活動を行わない）	中	新規調査	96.8%	93.2%	97.6%	98%	○
	高	新規調査	95.0%	91.1%	93.2%	96%	○

※ノー部活デーの実施率は、年間を通じて平日48日以上、休日24日以上部活動を行わなかった部の割合

[今後の取組]

- 平成29年3月に改定した兵庫県いじめ防止基本方針に基づき、いじめ対応マニュアルの改訂や各校の学校いじめ防止基本方針の改定を行うとともに、関係機関との連携強化等、体制の充実を図る。学校においては、引き続きいじめの積極的認知を行うとともに、いじめアンケートやカウンセリングマインド研修等の実施により、情報共有化、児童生徒の小さな変化を見逃さない体制づくりを進める。
- 新たな「教職員の勤務時間適正化推進プラン」を策定し、先進的な取組事例の積極的な活用を促すとともに、管理職のリーダーシップのもと、各校の主體的・組織的な取組による教職員の意識改革により、実効性のある取組を推進する。

- 綱紀肅正通知の周知徹底や各学校での研修の実施等により、引き続き、服務規律の確保や教職員の一層の資質向上を図る。

◆安全・安心な学習環境の整備

[取組状況等]

- 県立学校の耐震化及び空調設備、太陽光発電設備等の学習環境の計画的な整備を実施した。また、経済的に修学が困難な高校生等に対して奨学資金の貸与等を行った。

指 標	H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
県立学校の耐震化率 [高・特]	87.8%	92.2%	96.1%	98.4%	97%	◎
県立学校における普通教室への空調整備の整備率 [高・特]	64.9%	72.3%	81.2%	88.3%	80%	◎
県立学校における太陽光発電設備の整備率 [高・特]	61.0%	67.7%	74.7%	81.2%	80%	◎

[今後の取組]

- 学校施設の耐震化を計画的に進め、県立学校では平成30年度末までに耐震化を完了させる。
- 空調設備及び太陽光発電設備について、平成30年度の目標(90%)達成に向けて整備を促進する。
- 学校施設の老朽化対策については、「県立学校施設管理実施計画(H29～33)」に基づき、学校施設の長寿命化改修及びトイレ改修等を計画的に実施する。

基本方針4 すべての県民が学ぶ生涯学習社会の形成

◆生涯を通じた学びの機会・場の充実

[取組状況等]

- 魅力ある展覧会の開催、イベントや講座等の充実、多様な学習ニーズに対応するためのアウトリーチ活動の展開等に取り組んだ。

指 標	H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
社会教育施設の総利用者数 (アウトリーチ含む)	2,501千人	2,426千人	2,260千人	1,881千人	2,000千人	○
美術館、博物館における特別展等の内容に満足している来館者の割合	90.5%	91.3%	92.4%	92.9%	90%	◎

[今後の取組]

- 県民のニーズを踏まえた魅力ある展覧会の開催に加え、アウトリーチを含むイベントや講座、セミナー等の一層の充実及び関係機関・団体との連携、効果的な広報の拡充等を図り、入館者の増加に取り組む。

◆文化財の保存・活用

[取組状況等]

- 地域の宝である文化財を身近な存在としてもらうため、文化財所有者等による一斉公開事業等を実施する「ひょうごヘリテージマンス」事業に継続して取り組んだ。
- 平成27年出土の松帆銅鑿について県市一体となって調査研究を進めることで、地域振興や地域活性化の取組を支援した。

指 標	H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合	47.5%	49.3%	48.8%	53.2%	51%	◎
「ひょうごヘリテージマンス」における歴史文化遺産を活用した事業の実施件数	127件	140件	155件	186件	170件	◎

[今後の取組]

- 多様な自然・風土を有する本県が育んできた豊かな歴史文化遺産を後世に継承するため、地域独自の豊かな歴史文化遺産の保存・整備に引き続き取り組む。また、兵庫県を語る上で欠くことができない歴史上のテーマや、重要で広域的な課題について体系的な調査研究を推進し、歴史文化遺産を活かした地域活性化に取り組む。

◆「スポーツ立県ひょうご」の実現

[取組状況等]

- 「スポーツクラブ 21 ひょうご」の充実や「関西マスターズスポーツフェスティバル」の開催等により、生涯スポーツの普及、スポーツ実施につながる環境の整備に取り組んだ。
- 「第2期新兵庫県競技力向上事業」により競技団体の選手強化対策の支援、優秀な指導者の育成等競技力レベルの向上に取り組んだ。

指 標	H25実績値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H28目標値	評価
年間を通じてスポーツを実施する成人の割合（週1回以上）	47.2%	48.7%	64.1%	62%	65%	○
大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催に取り組むスポーツクラブ 21 ひょうごの割合	6.2%	4.4%	11.7%	16.7%	30%	▲
国内外で活躍する本県選手数	484人	398人	395人	415人	500人	△

[今後の取組]

- 大学や企業との連携や多世代(親子)で参加しやすいスポーツプログラムに関する研修・情報交換会を充実させるとともに、「スポーツクラブ 21 ひょうご」各地区連絡協議会と連携し、魅力あるスポーツクラブの育成を推進する。
- 誰もが参加できる「オープン型」の生涯スポーツ大会の拡大と大会情報の効果的な発信に努めるとともに、スポーツ未実施者が気軽に参加しやすい環境づくりを推進する。
- 兵庫県体育協会との連携を密にし、将来活躍が期待できる有望選手の育成・強化に取り組むとともに、県内指導者の資質向上を図り、継続的なトップアスリートの輩出に努める。

第2期「ひょうご教育創造プラン」に係る指標の達成状況

別添1

評価基準

評 価 (達成率)	記 号
当該年度目標値を達成した (100%以上)	◎
当該年度目標値を概ね達成した (90%以上100%未満)	○
当該年度目標値をやや下回った (70%以上90%未満)	△
当該年度目標値を下回った (70%未満)	▲
当該年度実績値が未確定	—
新規調査又は隔年調査のため評価不可	※

※H27実績値は政策会議時点 (H28年9月)

基本方針 1 自立して未来に挑戦する態度の育成

基本的方向 1 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値	
1	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小	86.5 %	86.6 %	◎	85.3 %	85.1 %	○	👑	全国平均以上
		中	71.7 %	70.2 %	○	71.1 %	69.6 %	○		全国平均以上
2	将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合 [高]	48 %	52.9 %	◎	52 %	51.4 %	○	👑	60 %	
3	トライやる・ウィークの事前事後指導において、発展学習として進路学習を行った学校の割合 [中]	78 %	87.5 %	◎	85 %	90.9 %	◎		100 %	
4	ものづくり体験館での体験学習を実施した学校数 [中]	100 校	108 校	◎	100 校	104 校	◎		毎年度 100 校	
5	社会人等による進路講演会等を実施した県立高等学校数 [高]	100 %	100 %	◎	100 %	100 %	◎		100 %	
6	就職希望者のうちインターンシップを行った県立高等学校生徒の割合 [高]	100 %	84.8 %	△	100 %	88.3 %	△		100 %	
-	特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合 [特]	20 %	※ (12月)		23 %	※ (12月)			全国平均以上	

基本的方向 2 兵庫型「体験教育」の推進

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値	
1	地域と協働してふるさとの自然のよさに気付く学習プログラムを実施した学校の割合 [小]	88 %	83.9 %	○	92 %	84.8 %	○		100 %	
2	トライやるアクション (トライやる・ウィークで培ったネットワーク等を活用した生徒の自発的活動) を実施した学校の割合 [中]	66 %	63.3 %	○	71 %	59.9 %	△	👑	80 %	
3	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小	66.9 %	63.8 %	○	67.9 %	65.3 %	○		全国平均以上
		中	44.8 %	44.9 %	◎	45.2 %	45.8 %	◎		全国平均以上
4	高校生ふるさと貢献活動事業等学校行事において地域と協働した活動 (地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等) に参加した生徒の割合 [高]	61 %	58.4 %	○	67 %	61.2 %	○		80 %	
5	自発的に地域活動やボランティア活動 (地域の祭り等の伝統行事や清掃活動等: 学校行事除く) に参加した生徒の割合 [高]	27 %	26.9 %	○	29 %	27.3 %	○		33 %	

基本的方向 3 グローバル化に対応した教育の推進

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値	
1	難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している児童生徒の割合	小	75 %	74.5 %	○	76 %	74.1 %	○		78 %
		中	66 %	65.5 %	○	67 %	66.6 %	○		69 %
2	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う生徒の割合 [高]	41 %	44.4 %	◎	44 %	42.6 %	○	👑	50 %	
3	英検準2級以上相当の英語力を有する高校3年生の割合 [高]	42.5 %	42.0 %	○	45 %	43.9 %	○		50 %	
4	総合的な学習の時間や特別活動で伝統文化活動等を実施した学校の割合 [高]	19 %	18.9 %	○	24 %	21.8 %	○		33 %	
5	副読本「世界と日本」を活用した授業を実施した学校の割合 [高]	89 %	94.6 %	◎	93 %	94.6 %	◎		100 %	

基本方針2 「生きる力」を育む教育の推進

基本的方向1 「確かな学力」の育成

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値	
1	「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）〔小学校〕	国A	70.0 %	70.1 %	◎	73 %	73 %	◎		全国平均以上
		国B	65.4 %	65.5 %	◎	58 %	58 %	◎		全国平均以上
		算A	75.2 %	75.2 %	◎	78 %	78 %	◎		全国平均以上
		算B	45.0 %	46.9 %	◎	47 %	47 %	◎		全国平均以上
1	「全国学力・学習状況調査」における学力調査結果（平均正答率）〔中学校〕	国A	75.8 %	77.1 %	◎	76 %	76 %	◎		全国平均以上
		国B	65.8 %	65.9 %	◎	67 %	66 %	○	⬇	全国平均以上
		数A	64.4 %	67.1 %	◎	62 %	66 %	◎		全国平均以上
		数B	41.6 %	42.8 %	◎	44 %	46 %	◎		全国平均以上
2	学校の授業以外に、普段（月曜から金曜日）、1日当たり30分以上読書する児童生徒の割合	小	38 %	36.3 %	○	39 %	34.8 %	△	⬇	41 %
		中	30 %	27.2 %	○	31 %	25.3 %	△	⬇	33 %
		高	12 %	11.6 %	○	13 %	11.8 %	○		15 %
3	授業（国、算・数）の内容がよく分かると回答する児童生徒の割合	小国	80 %	80.9 %	◎	81 %	79.5 %	○	⬇	83 %
		小算	81 %	79.2 %	○	82 %	78.1 %	○		84 %
		中国	72 %	71.7 %	○	73 %	72.8 %	○		75 %
		中数	71 %	69.8 %	○	72 %	67.7 %	○		74 %
4	「学校の授業がよく分かる」と感じている生徒の割合〔高〕	57 %	57.4 %	◎	58 %	57.5 %	○	⬇	60 %	
5	普段の授業で、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思う児童生徒の割合	小	81 %	82.7 %	◎	82 %	85.6 %	◎		90 %
		中	58 %	64.8 %	◎	62 %	77.4 %	◎		85 %
6	普段の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思う児童生徒の割合	小	74 %	69.3 %	○	76 %	72.9 %	○		80 %
		中	45 %	44.3 %	○	48 %	49.0 %	◎	⬇	55 %
7	家庭など学校での授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合	小	67 %	63.0 %	○	68 %	63.1 %	○		70 %
		中	70 %	69.4 %	○	71 %	68.2 %	○		73 %
		高	52 %	49.8 %	○	53 %	48.5 %	○		55 %
8	探究的活動を取り入れた授業を行っている学校の割合〔高〕	80 %	89.2 %	◎	85 %	89.9 %	◎		100 %	
9	「ことばの力」に関する教員研修を実施している学校の割合〔小・中〕	100 %	100 %	◎	100 %	100 %	◎		全校で継続実施	
10	観察・実験活動充実のための高校教員等による研修会を開催する学校数〔小〕	59 校	51 校	△	62 校	43 校	▲	⬇	70 校	
11	I C T活用、情報モラル指導等に関する校内研修を実施している学校の割合〔小・中・高〕	70 %	※（10月）	—	80 %	95.6 %	◎		100 %	

基本的方向2 「豊かな心」の育成

No	指 標		H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値
1	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小	78 %	77.0 %	○	79 %	76.5 %	○		81 %
		中	67 %	67.6 %	◎	68 %	69.3 %	◎		70 %
2	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している児童生徒の割合	小	75 %	74.5 %	○	76 %	74.1 %	○		78 %
		中	66 %	65.5 %	○	67 %	66.6 %	○		69 %
3	兵庫版道徳教育副読本を活用した授業の年間授業時数	小	5.2 時間	5.3 時間	◎	5.5 時間	5.7 時間	◎		6 時間
		中	5.1 時間	4.7 時間	○	5.4 時間	4.9 時間	○		6 時間
4	兵庫版道徳教育副読本を活用した校内研修を実施している学校の割合 [小・中]		94 %	92.3 %	○	96 %	99.5 %	◎	↗	100 %
5	道徳の授業を全学級で家庭・地域に公開している学校の割合 [小・中]		80 %	76.7 %	○	90 %	78.8 %	△	↗	100 %
6	(H27)人の気持ちがかかる人間になりたいと思う児童生徒の割合 (H28)人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	小	100 %	93.6 %	○	100 %	93.9 %	○		100 %
		中	100 %	94.7 %	○	100 %	92.8 %	○		100 %
7	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小	100 %	96.2 %	○	100 %	96.5 %	○		100 %
		中	100 %	93.8 %	○	100 %	93.7 %	○		100 %
8	人権教育資料を活用した授業を実施した学校の割合	小	85 %	78.9 %	○	90 %	※ (8月)	—		100 %
		中	85 %	68.0 %	△	90 %	※ (8月)	—		100 %
		高	91 %	85.2 %	○	94 %	81.1 %	△	↗	100 %
9	人権教育資料を活用した校内研修を実施した学校の割合	小	85 %	98.9 %	◎	90 %	※ (8月)	—		100 %
		中	85 %	95.7 %	◎	90 %	※ (8月)	—		100 %
		高	85 %	91.3 %	◎	90 %	96.6 %	◎		100 %
10	防災教育副読本「明日に生きる」を活用して防災教育に取り組む学校の割合 [小・中・高]		100 %	100 %	◎	100 %	100 %	◎		100 %

基本的方向3 「健やかな体」の育成

No	指 標		H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値
1	昭和60年頃の子どもの体力水準に達している項目の割合 [小・中・高]		27 %	22.7 %	△	50 %	27.3 %	▲	↗	50 %
2	スポーツをする児童生徒の割合 (授業を除き1日1時間以上)	小	66 %	48.6 %	△	70 %	50.3 %	△		77.8 %
		中	84 %	78.1 %	○	85 %	78.4 %	○		86.9 %
		高	60 %	53.9 %	△	70 %	54.9 %	△		78 %
3	「運動プログラム」を活用している学校の割合	小	75 %	71.0 %	○	80 %	62.7 %	△	↗	90 %
		中	65 %	61.1 %	○	70 %	59.6 %	△	↗	80 %
4	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	小	89 %	86.3 %	○	90 %	86.5 %	○		92 %
		中	85 %	83.1 %	○	86 %	82.9 %	○		88 %
		高	82 %	82.5 %	◎	83 %	82.2 %	○	↗	85 %
5	食育に関する体験活動の実施のべ回数 [小・中]		4,500 回	4,310 回	○	4,500 回	4,402 回	○		4,500 回
6	学校保健委員会を実施している学校の割合 [小・中・高]		100 %	97.1 %	○	100 %	98.6 %	○		100 %
7	薬物乱用防止教室を開催した学校の割合 [中・高]		85 %	78.9 %	○	90 %	94.7 %	◎	↗	100 %

基本的方向4 幼児期の教育の充実

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値
1	幼稚園教員と保育士の合同研修を実施する市町の割合	83.5 %	87.5 %	◎	85 %	90.0 %	◎		88 %
2	幼稚園教員を対象とした資質向上研修を実施している公立幼稚園の割合	380 園	380 園	◎	100 %	100 %	◎		100 %
3	円滑な接続のために小学校と連携した公立幼稚園の割合	91 %	97.3 %	◎	94 %	98.3 %	◎		100 %
4	認定こども園の数（各年度4月1日時点）	231 園	230 園	○	338 園	322 園	○		472 園
5	わくわく幼稚園を実施している私立幼稚園数	180 園	152 園	△	190 園	146 園	△		202 園

基本的方向5 特別支援教育の充実

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値	
1	特別な支援を必要とする児童生徒の「個別の指導計画」を作成・活用した学校の割合	小	100 %	99.0 %	○	100 %	99.3 %	○		100 %
		中	100 %	98.1 %	○	100 %	98.1 %	○		100 %
2	特別な支援を必要とする生徒が在籍する県立高等学校のうち、「個別の指導計画」を作成・活用した学校の割合 [高]	65 %	59.7 %	○	70 %	76.4 %	◎	↗	80 %	
3	特別な支援を必要とする児童生徒の「個別の教育支援計画」を作成・活用した学校の割合	小	95 %	86.5 %	○	100 %	93.6 %	○		100 %
		中	95 %	88.5 %	○	100 %	93.9 %	○		100 %
4	特別な支援を必要とする生徒が在籍する県立高等学校のうち、「個別の教育支援計画」を作成・活用した学校の割合 [高]	70 %	60.8 %	△	75 %	74.0 %	○	↗	80 %	
5	通常の学級に在籍し、「個別の教育支援計画」を作成した生徒の支援情報を高校等の進学先へ引き継いだ割合 [中]	100 %	96.2 %	○	100 %	96.8 %	○		100 %	
6	特別支援教育に関する研修を受講した教員の割合 [幼・小・中・高]	100 %	87.0 %	△	100 %	90.5 %	○	↗	100 %	
7	特別支援学校高等部から一般就労した卒業生の割合 [特]	20 %	※ (12月)	—	23 %	※ (12月)	—		全国平均以上	
8	交流及び共同学習を通じて、障害のある生徒の理解がよく深まった高校生の割合 [高]	90 %	86.3 %	○	95 %	91.1 %	○		95 %	
9	特別支援学校高等部生徒の就労体験を受け入れる企業・事業所等の数 [特]	450 事業所	544 事業所	◎	450 事業所	544 事業所	◎		毎年度 事業所 450 所	

基本的方向6 私学教育の振興

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値
1	県民による私立高校の選択（募集定員充足率）	93.2 %	88.6 %	○	93.2 %	92.6 %	○		H26実績値を維持
2	私立学校の耐震化率	83 %	※ (12月)	—	84.5 %	※ (12月)	—		90 %

基本的方向7 高等教育の推進

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値
1	県立大学における共同研究・受託研究数	205 件	207 件	◎	210 件	202 件	○	↗	220 件
2	県立大学における留学生数（派遣人数）	95 人	162 人	◎	110 人	218 人	◎		150 人
3	県立大学における留学生数（受入人数）	200 人	170 人	△	230 人	183 人	△		300 人
4	県立大学における地域向けの公開講座・オープンゼミナールの開催（開催講座数）	32 講座	59 講座	◎	37 講座	44 講座	◎		42 講座
5	県立大学における地域向けの公開講座・オープンゼミナールの開催（受講人数）	1,650 人	1,642 人	○	1,925 人	2,171 人	◎	↗	2,200 人
6	HUMAP構想による短期留学生交流人数	343 人	350 人	◎	345 人	367 人	◎		毎年度 人 350 以上
7	単位互換による教養教育等の共同化大学数	31 大学	32 大学	◎	32 大学	35 大学	◎		毎年度 大学 34 以上

基本方針3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立

基本的方向1 学校の組織力及び教職員の資質能力の向上

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値	
1	授業研究を伴う校内研修を実施した学校の割合 (年間5回以上)	小	95 %	92.5 %	○	96 %	93.6 %	○		98 %
		中	58 %	57.1 %	○	62 %	59.7 %	○		70 %
		高	50 %	39.9 %	△	60 %	85.0 %	◎	↗	70 %
2	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合 [小・中・高・特]	75 %	※ (9月)	—	80 %	※ (8月)	—		90 %	
3	教職員の処分件数 [小・中・高・特]	239 件	504 件	▲	203 件	339 件	▲		130 件以下	
4	体罰の発生件数 [小・中・高・特]	30 件	45 件	▲	20 件	32 件	▲		0 件	
5	学校評価の結果をその後の具体的な取組に活かした学校の割合 [幼・小・中・高・特]	100 %	74.1 %	△	100 %	72.3 %	△		100 %	
6	「教職員定時退勤日(ノー残業デー)」を実施している学校の割合(週1回以上) [小・中・高・特]	70 %	72.3 %	◎	80 %	76.7 %	○	↗	100 %	
7	「ノー会議デー」を実施している学校の割合(週1回以上) [小・中・高・特]	70 %	91.3 %	◎	80 %	92.1 %	◎		100 %	
8	「ノー部活デー」を実施している運動部、文化部の割合(平日は週1日以上、土曜日、日曜日等の休業日は月2回以上部活動を行わない)	中	98 %	93.2 %	○	98 %	97.6 %	○		100 %
		高	96 %	91.1 %	○	96 %	93.2 %	○		100 %
9	いじめの実態把握のために、アンケート調査を実施している学校の割合(学期に1回以上)	小・中	100 %	※ (10月)	—	100 %	※ (10月)	—		100 %
		高	100 %	※ (10月)	—	100 %	※ (10月)	—		100 %
10	認知したいじめを解消させた割合 [小・中・高・特]	88.8 %	※ (10月)	—	全国平均以上	※ (10月)	—		全国平均以上	
11	暴力行為の発生件数(児童生徒1,000人あたり) [小・中・高]	4.5 件	※ (10月)	—	全国平均以下	※ (10月)	—		全国平均以下	
12	不登校児童生徒の割合 [小・中・高]	1.34 %	※ (10月)	—	全国平均以下	※ (10月)	—		全国平均以下	
13	精神疾患による療養者数 [小・中・高・特]	200 人	217 人	○	185 人	212 人	△	↗	160 人以下	
14	休職中の教員のプレ出勤等実施率(精神疾患により休職中の教員が職場復帰する際の1ヶ月以上のプレ出勤等率) [小・中・高・特]	50 %	54.5 %	◎	60 %	50.0 %	△	↗	80 %	

基本的方向2 安全・安心な学習環境の整備

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値
1	県立学校の耐震化率 [高・特]	95 %	96.1 %	◎	97 %	98.4 %	◎		100 %
2	県立学校における普通教室への空調設備の整備率 [高・特]	75 %	81.2 %	◎	80 %	88.3 %	◎		90 %
3	県立学校における太陽光発電設備の整備率 [高・特]	75 %	74.7 %	○	80 %	81.2 %	◎	↗	90 %

基本的方向3 家庭の教育力の向上

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値
1	PTCA活動支援事業参加者数	18,000 人	17,623 人	○	18,000 人	16,436 人	○		毎年度 人 18,000 以上
2	市町における子育て家庭を対象とした講座への参加者数	550,000 人	631,138 人	◎	550,000 人	776,498 人	◎		毎年度 人 550,000 以上
3	まちの子育てひろば事業実施箇所数	2,170 箇所	2,147 箇所	○	2,190 箇所	2,099 箇所	○		2,230 箇所
4	未就園児及びその保護者を対象とした教育相談・保育等を実施する公立幼稚園の割合	78 %	86.4 %	◎	79 %	89.8 %	◎		90 %
5	乳幼児子育て応援事業を実施している私立幼稚園数(累計)	215 園	207 園	○	220 園	209 園	○		232 園
6	乳幼児子育て応援事業を実施している保育所数(累計)	475 園	478 園	◎	490 園	489 園	○	↗	510 園

基本的方向4 地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値
1	地域の子どもは伸び伸びと育っていると思う人の割合	63 %	62.7 %	○	63 %	65.4 %	◎	↗	毎年度 % 63 以上
2	地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している人の割合	23 %	25.1 %	◎	23 %	38.4 %	◎		毎年度 % 23 以上
3	登下校の見守り活動が行われている学校の割合 [小]	100 %	※ (11月)	—	—	隔年調査	※		100 %
4	地域住民の参画による学校地域連携の仕組みを有する学校の割合(政令市、中核市除く) [小・中]	67 %	65.3 %	○	80 %	82.7 %	◎	↗	100 %
5	ひょうごっ子・ふるさと塾事業実施数	100 箇所	75 箇所	△	100 箇所	59 箇所	▲	↗	毎年度 箇所 100
6	学校関係者評価を公表(広く公表)している学校の割合 [幼・小・中・高・特]	100 %	100 %	◎	100 %	100 %	◎		100 %

基本方針4 すべての県民が学ぶ生涯学習社会の形成

基本的方向1 生涯を通じた学びの機会・場の充実

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値
1	美術館・博物館における特別展等の内容に満足している来館者の割合	90 %	92.4 %	◎	90 %	92.9 %	◎		毎年度 % 90 以上
2	社会教育施設の総利用者数（アウトリーチ含む）	200 万人	226.0 万人	◎	200 万人	188.1 万人	○	📉	毎年度 万人 200 以上
3	社会教育施設の講座やイベント・アウトリーチの実施回数	2,800 回	2,950 回	◎	2,800 回	2,707 回	○	📉	毎年度 回 2,800 以上
4	目的を持って学んでいるものがある人の割合	41 %	42.9 %	◎	41 %	45.1 %	◎		毎年度 % 41
5	高齢者大学講座の受講者数	3,150 人	3,179 人	◎	3,150 人	3,113 人	○	📉	毎年度 人 3,150 以上
6	生涯学習情報ネットワークシステムのアクセス件数	700 千件	548 千件	△	710 千件	582 千件	△		730 千件
7	人と自然の博物館における共生博物館地域研究員の養成人数	220 人	221 人	◎	225 人	229 人	◎		235 人
8	社会教育関係職員等研修受講者数（のべ人数）（累計）	750 人	1,047 人	◎	1,000 人	1,422 人	◎		1,500 人
9	生涯学習リーダーバンクの登録者数	240 人	239 人	○	245 人	234 人	○		255 人

基本的方向2 文化財の保存・活用

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値
1	住んでいる地域には、自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）があると思う人の割合	50 %	48.8 %	○	51 %	53.2 %	◎	📈	55 %
2	考古博物館におけるボランティア（考古楽者）研修修了人数	340 人	347 人	◎	360 人	365 人	◎		400 人
3	「ひょうごヘリテージマンス」における歴史文化遺産を活用した事業の実施件数	155 件	155 件	◎	170 件	186 件	◎		200 件

基本的方向3 「スポーツ立県ひょうご」の実現

No	指 標	H27目標値	H27実績値	評価	H28目標値	H28実績値	評価	H27→H28	H30目標値	
1	スポーツをする児童生徒の割合（授業を除き1日1時間以上）	小	66 %	48.6 %	△	70 %	50.3 %	△		77.8 %
		中	84 %	78.1 %	○	85 %	78.4 %	○		86.9 %
		高	60 %	53.9 %	△	70 %	54.9 %	△		78 %
2	親子で行うスポーツプログラムを実施するスポーツクラブ21ひょうごの割合	75.2 %	64.4 %	△	80 %	70.3 %	△		88 %	
3	年間を通じてスポーツを実施する成人の割合（週1回以上）	63.7 %	64.1 %	◎	65 %	62.0 %	○	📉	69 %	
4	大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催に取り組むスポーツクラブ21ひょうごの割合	23 %	11.7 %	▲	30 %	16.7 %	▲		38 %	
5	気軽に参加できる生涯スポーツ大会数	71 大会	70 大会	○	75 大会	71 大会	○		85 大会	
6	国内外で活躍する本県選手数	484 人	395 人	△	500 人	415 人	△		540 人	
7	障害のある人のスポーツ参加者数	11,400 人	13,294 人	◎	12,000 人	18,323 人	◎		13,200 人	

基本方針	平成27年度実績					平成28年度実績				
	◎	○	△	▲	-	◎	○	△	▲	-
1 自立して未来に挑戦する態度の育成	8	10	1	0	0	5	12	2	0	0
2 「生きる力」を育む教育の推進	30	41	9	0	3	29	36	10	2	6
3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立	10	11	3	2	7	11	9	3	3	6
4 すべての県民が学ぶ生涯学習社会の形成	11	4	5	1	0	8	7	5	1	0
合 計	59 [40.4%]	66 [45.2%]	18 [12.3%]	3 [2.1%]	10	53 [37.1%]	64 [44.7%]	20 [14.0%]	6 [4.2%]	12

第2期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」
平成28年度実施計画に掲げる指標の達成状況が低い項目（△▲：90%未満）について

指 標	目 標	実 績	達成率	評 価	理 由	対 応
[1-1-6] 就職希望者のうちインターンシップを行った県立高等学校生徒の割合 [高]	100%	88.3%	88.3%	△	進学希望者の就職への急な進路変更など、生徒や学校の状況によりインターンシップに参加できない生徒がいた。	キャリア教育担当者会で取組事例を紹介するなど、実施方法及びインターンシップの有効性の周知徹底を図り、目標達成を目指す。
[1-2-2] 「トライやる」アクション※を実施した学校の割合[中] ※トライやる・ウィークで培ったネットワーク等を活用した生徒の自発的活動	71%	59.9%	84.4%	△	本事業の趣旨についての学校の認識不足や、休日の部活動への参加との兼ね合い等により、停滞している。	教育事務所が開催する市町担当者会において、「トライやる」アクションの推進、事前・事後指導の充実について説明し、各市町組合教育委員会へ周知する。 平成29年度キャリア教育充実事業において、「トライやる・ウィーク」の効果的な事前・事後指導を実践研究し、「トライやる」アクション実施へつなげる事例を周知する。
[2-1-2] 学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり30分以上読書する児童生徒の割合	[小] 39% [中] 31%	[小] 34.8% [中] 25.3%	[小] 89.2% [中] 81.6%	[小] △ [中] △	家庭等での読書習慣が確立されていない。	今年度から2年間で新たな読書活動推進事業推進校13校(小:8校、中:5校)を指定し、家庭と連携した読書習慣の育成等の実践研究の成果を県内に普及・啓発を図る。
[2-1-10] 観察・実験活動充実のための高校教員等による研修会を開催する学校数 [小]	62校	43校	69.4%	▲	講師である高校教員等の指導分野や指導可能日とのマッチングが必要な事業であることや他の研修との兼ね合いで活用が進んでいない。	小学校長会等を通じて、積極的な活用について依頼する。また、実施率が低い教育事務所に対して、最も開催しやすい夏季休業中にあわせて、早めに市町教育委員会と連絡調整をするよう依頼する。
[2-2-5] 道徳の授業を全学級で家庭・地域に公開している学校の割合 [小・中]	90%	78.8%	87.6%	△	授業参観の実施回数や、公開する教科等のバランスにより、必ずしも道徳の授業公開が実施できない学級がある。	オープンスクール等で積極的に道徳の授業を実施するよう、研修会等を通じて周知する。
[2-2-8] 人権教育資料を活用した授業を実施した学校の割合[高]	94%	81.1%	86.3%	△	講演会等による人権教育を実施した際は人権教育資料を使用しない場合がある。 学校によっては、独自の教材を作成・使用している。	人権教育研修会を通して、資料の効果的な活用方法を情報提供するとともに、講演会等を行う場合にも事前・事後指導で資料を用いるなど、積極的な活用を促す。

指 標	目 標	実 績	達成率	評 価	理 由	対 応
[2-3-1] 昭和60年頃の子どもの体力水準に達している項目の割合 [小・中・高]	50%	27.3%	54.6%	▲	50m走、持久走の「走能力」の項目では全国同等以上の傾向を示しているが、生活様式の変化等により、「握力」と「投能力」の項目が低い値となっている。	専門性に優れたサポーターを小学校に派遣する「体力アップサポーター派遣事業」を拡充する。 ホームページに掲載している「3分間で分かる小学校体育授業」等の活用を促すとともに、体力アップスクール表彰受賞校の取組等を紹介し、教員の指導力向上に努める。
[2-3-2] スポーツをする児童生徒の割合 (授業を除き1日1時間以上) [小][高]	[小] 70% [高] 70%	[小] 50.3% [高] 54.9%	[小] 71.9% [高] 78.4%	[小] △ [高] △	運動をする児童生徒とそうでない児童生徒の二極化がみられる。	体力アップサポーターによる授業を活用し、近隣の学校からも研修に参加を促すとともに、派遣校からの報告動画をホームページに掲載するなどして教員の指導力向上を図る。 体育実技講習会を2日から3日に拡充し、幼稚園・小学校低学年を対象とした実技講習を実施し、小、中学校体育担当教員の実技能力を高める。
[2-3-3] 運動プログラムを活用している学校の割合 [小・中]	[小] 80% [中] 70%	[小] 62.7% [中] 59.6%	[小] 78.4% [中] 85.1%	[小] △ [中] △	「運動プログラム」DVD全編の映像時間が長く、活用方法についてもポイントがわかりづらい部分がある。また、小・中学校教員の視聴時間の確保が難しい。	DVDの内容を細分化したプログラムごとの映像を体育保健課ホームページ上に掲載する等、短時間での視聴を可能にするとともに、さらなる周知を図る。
[2-4-5] わくわく幼稚園を実施している私立幼稚園数	190園	146園	76.8%	△	認定こども園への移行等により、低年齢児に対応するための教職員が必要になるなど、人材確保が困難である。	幼稚園教員を離職した再就職希望者や潜在幼稚園教諭の復職を支援する。 業務支援システムの導入補助により負担軽減を図るなど、教員の人材確保に努める。
[2-7-3] 県立大学における留学生数(受入人数)	230人	183人	79.6%	△	大多数を占める中国からの留学生について、日中関係悪化の影響がある。	マレーシア・ベトナムなど東南アジアからの留学生が増えていることから、様々な国の留学生が集う国際交流サロンにおけるPRの充実等を図る。
[3-1-3] 教職員の処分件数 [小・中・高・特]	203件	339件	59.9%	▲	処分件数の約6割を占める交通事故違反に対する教職員の認識の徹底が必要である。	綱紀粛正通知の周知徹底、市町教委、各学校での研修等の実施により、交通法規の遵守と交通事故の防止をはじめ綱紀粛正の徹底に努める。
[3-1-4] 体罰の発生件数 [小・中・高・特]	20件	32件	62.5%	▲	教員の体罰に対する認識不足と教員への指導が不徹底であった。	綱紀粛正通知の周知徹底、市町教委、各学校での研修等の実施により、体罰防止の徹底に努める。

指 標	目 標	実 績	達成率	評 価	理 由	対 応
[3-1-5] 学校評価の結果をその後の具体的な取組に活かした学校の割合 [幼・小・中・高・特]	100%	72.3%	72.3%	△	回答側の捉え方の違いにより、小さな改善の取組は調査結果に反映されていない場合があり、回答基準の周知も必要である。 学校の自己評価はH16年度から実施しており、各学校が直ちに改善できるような取組は一定程度実施済みである。	評価結果と改善方策を次年度の重点目標等の設定に反映し、具体的な取組の改善を図ることに活用するよう、学校管理職研修等の際に周知する。 毎年度実施している実施状況調査の結果を送付する際に周知事項として市町教委に周知徹底していく。
[3-1-13] 精神疾患による療養者数 [小・中・高・特]	185人	212人	87.3%	△	精神疾患による療養者数は、平成27年度、28年度と2年続けて減少しているが、療養者数を大幅に減少させることは難しい。	引き続きメンタルヘルス総合対策事業等の取組を行い精神疾患の未然防止及び再発防止に努める。
[3-1-14] 休職中の教員のプレ出勤等実施率(精神疾患により休職中の教員が職場復帰する際の1ヶ月以上のプレ出勤等率) [小・中・高・特]	60%	50%	83.3%	△	休職中の教員が職場復帰する際、1ヶ月未満のプレ出勤や長期休業期間中に復職することで段階的に勤務に慣らしていく場合もあり、1ヶ月以上の実施率が伸びなかった。	プレ出勤制度の趣旨やリワーク支援プログラム事業への参加について所属長及び療養者に積極的に周知し、実施率の向上に努める。
[3-4-5] ひょうごっ子・ふるさと塾事業実施数	100箇所	59箇所	59.0%	▲	近年、地域一体型と制度内容が類似した地域づくり活動応援事業においても、同様の目的の青少年向け体験事業が広がっていることから、地域一体型の活用が伸び悩んでいる。 ※地域一体型…一定の地域(小学校区程度)を基盤とする団体が行う体験活動	平成29年度から、地域づくり活動応援事業において地域団体による青少年体験事業を促進するとともに、青少年団体の活動を強化するため、青少年活動型を拡充し、対象団体への周知強化等による実施団体の掘り起こしを促進する。
[4-1-6] 生涯学習情報ネットワークシステムのアクセス件数	710千件	582千件	82.0%	△	生涯学習情報ネットワークシステム参画機関それぞれが、HPやSNS(ツイッター・フェイスブック等)を活用し、積極的に情報発信を行うようになったことなどから、ネットワークシステムのHP自体へのアクセス件数は伸び悩んだ。	平成27年9月にシステム更新を行い、検索機能の強化、相互リンクの充実等を行った結果、27年度、28年度とアクセス件数は上昇を続けており、今後も引き続き関係機関等と連携して、幅広い学習情報の収集及びサイトの周知を図る。
[4-3-2] 親子で行うスポーツプログラムを実施するスポーツクラブ21ひょうごの割合	80%	70.3%	87.9%	△	全県スポーツサミット等において、多様なプログラムによる取組事例を「SC21ひょうご」関係者等に紹介し啓発を進めたが、十分に浸透していない。	多様なプログラムの展開は、親子を含めた多世代の参加も見込めることから、魅力ある実践事例の紹介等を通して、取組が行われていないクラブへの更なる働きかけを行う。

指 標	目 標	実 績	達成率	評 価	理 由	対 応
[4-3-4] 大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催に取り組むスポーツクラブ 21 ひょうごの割合	30%	16.7%	55.7%	▲	全県スポーツサミット等において、多様なプログラムによる取組事例を「SC21 ひょうご」関係者等に紹介し啓発を進めたが、十分に浸透していない。	全県スポーツサミット等で、大学・企業との取組事例紹介を通じて、連携の手法を共有するとともに、大学・企業に対しては、指導者やトップアスリートの派遣、施設開放等、スポーツを通じた地域貢献活動への協力を働きかける。
[4-3-6] 国内外で活躍する本県選手数	500 人	415 人	83.0%	△	前年度活躍が見られたサッカーやラグビーフットボールなどの団体種目において結果が出せなかったため、目標値(500 人)には至らなかった。	兵庫県体育協会と引き続き連携を密にし、将来活躍が期待できる有望選手の発掘・育成・強化に取り組むとともに、県内指導者の資質向上を図り、継続的なトップアスリートの輩出に取り組む。

＜問い合わせ先＞

教育委員会事務局教育企画課教育企画班

TEL : 078-362-4478